

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
■ 第一次選抜 : 3/9(水)	2/19(金) ~24(水)正午	3/16(水)	各学年9教科5段階 1年+2年+3年×2 =45+45+45×2=180満点
■ 第二次選抜 : 3/23(水)	3/17(木)	3/25(金)	

教育のプロ
トライさん



傾向

第一次選抜は、「標準検査」を実施。内容は学力検査(5教科、各50分)、実技検査(音楽科、美術科)、面接(各高校で実施の有無を決定)。部活動の実績、学科などの専門領域における実技能力を特に重視する学科、コースでは、希望者に対して標準検査に加え、「独自検査(内容は、面接、小論文、実技検査、自己表現の中から高校が指定した検査)」を実施。選抜方法は、調査書と標準検査の結果を総合的に審査。比率は7:3~3:7の範囲で各高校が設定。
第二次選抜は、第一次選抜の合格者数が定員に満たない場合に実施。全員に面接が実施され、高校に応じて学力検査(教科は各高校で指定可)、小論文、実技検査(音楽科、美術科)が実施される。

科目別対策

英語

大問6問で構成。
リスニングは50分中約11分。残りの5問を見直し込みで約39分で解かなくてはならない。そのため、スピード感を持つことが重要。
配点の半分以上を読解が占めており、昨年度は短めの文の読解問題が4問と約270語のスピーチ読解に加え、約580語の対話文読解があった。英作文では、質問に対し、1~2文で答える問題が出題。

数学

大問6問で構成。
大問1の小問集合の配点は、全体の約4分の1を占めており、確実に点を取っておきたい。
証明問題や確率、関数、規則性に関する問題の他、求める過程を穴埋めする問題も出題された。ただ答えを記入するだけでなく、図形の証明、文章題の解き方など、過程を記述できる力が必要。

国語

大問6問で構成。
漢字の配点が20点と全体の2割を占める。漢字や古典、国語知識の問題を速く解いて、小説や説明的文章、作文にどれだけ時間をかけられるかが高得点のポイントになる。昨年は、お題に対し160字程度で、自分の考えを書く作文が出題された。文章読解は、内容を説明する問題など小問数が多い。全体を通して、幅広い単元の読解力と記述力が問われる。

理科

大問5問で構成。
大問1~4は物理・化学・生物・地学から各1問、大問5は小問集合。各分野から万遍なく出題されるため、苦手分野をなくすように対策する必要がある。
昨年は文章記述問題やグラフを書く問題が出題されている。いろんなパターンの問題を解き、慣れておく必要がある。過去4年を見ると、化学の水溶液・気体、生物の植物の仲間分けなどが特に出やすい。

社会

大問3問で構成。
歴史、地理、公民から各1問ずつ。まんべんなく出題されるので、苦手な分野はしっかり復習をする必要がある。
3分野とも、指定された語句を使って記述する問題が出題されている。用語や出来事の説明など、条件にそって文章を簡潔にまとめ、記述する力を養おう。また、統計資料やしくみ図を読み取って答える問題も地理公民から出題されている。